

事業計画書

〔2019年6月21日〕

一般財団法人日本経営史研究所

2019 年度事業計画

自 2019 年 4 月 1 日

至 2019 年 3 月 31 日

○ 2019 年度の事業計画および収支予算の概要

2019 年度の事業計画と収支予算の概要は、以下のとおりです。

2017 年 4 月に編纂業務を受託いたしました、『国分史料集』(仮題)は、平成 31 年 3 月の刊行を目指してデータ入力を進め、ほぼ作業は完了しましたが、国分(株)から新しい収録資料の提案があったため出版計画に遅延が生じ、本年度への継続事業となりました。

また、2017 年 9 月に受託しました『井上語録』の編集は、編集構想の確定が遅れたため、刊行も延期されておりましたが、改めてタイトルを『経営は人の営み一夢の実現に新たな挑戦を』と改称して執筆構想を確定し、本年 12 月に日本語版を完成する予定となりました。引き続き英語版、中国語版、スペイン語版を刊行する予定であり、日本語原稿の脱稿に合わせて翻訳用原稿の作成と翻訳作業に入れるよう、準備を進めています。

さらに、本年には(株)ダイキンと『ダイキン工業 100年史』の契約を締結する見込みで、すでに目次構想の検討に着手しております。2025年10月までに、日本語の本史とともに、英文版・中国語版・スペイン語版を刊行する予定です。

研究事業ならびに出版計画では、公益財団法人三井文庫とともに共同事業として立ち上げました『三井物産史の研究』につきましては、引き続き執筆再開に向けて三井文庫と調整中です。2012年にスタートしました『産業経営史シリーズ』は、『金融業』について執筆・編集作業が完了し、本年4月に第11冊目として刊行する予定です。そのほか、『グローバル企業』『電機産業』『自動車工業』につきましても、本年度中の刊行をめざして、執筆者の督促など努力を重ねています。

昨年には日本経営史研究所の設立50周年を記念して、『社史物語—日本経営史研究所の半世紀(仮題)』を企画し、本年秋の完成を目指して目下執筆が進行しています。

経営史料センターの活動としましては、社史の収集を継続して行ない、2020年度の優秀会社史賞選考に向けて所蔵資料の充実に努めております。収集した社史については、内外の研究者・関係者のニーズに応えるべく閲覧に供してまいります。

日本経営史研究所が、創立以来事務局を引き受けてきました企業史料協議会につきましては、本年度も従来通りの支援活動をつづけてまいります。日本のビジネスアーカイブズは、今や国際的にも国内的にも関心を持たれるようになっており、いっそうの協力・支援を行なう所存です。

本年度の収支予算は、添付の収支予算書のとおりを見込むこととなります。

2019年度の研究・出版事業および会社史等の編纂受託事業は以下のとおりです。

1. 研究・出版事業

1) 産業経営史シリーズ

* 『金融業』 (完了予定)

* 『グローバル企業』 『電機産業』 『自動車産業』 (継 続)

2) 『三井物産史の研究』 (継 続)

2. 会社史等の編集受託

1) 『国分史料集』 (完了予定)

2) 『経営は人の営み夢の実現に新たな挑戦を』 (完了予定)

3) 『ダイキン工業100年史』 (仮題) (新 規)

3. その他

『社史物語—日本経営史研究所の半世紀(仮題)』 (継 続)